
小説家になろうという決意

上川 勲

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

小説家になろうという決意

【NZコード】

N8029A

【作者名】

上川 勲

【あらすじ】

バカな文章です。暇がある人だけ見てください。それ以外は何も言いません。

ああ・・・。小説書こうかなあ。

小学校6年生のとき、唐突にそんなことを思つたときから血分は小説を書き始めました。

唐突に思つたことは、自分はすぐに実行するタイプだからだ。だけど正直、小説の書き方なんて自分は知らない。今でも少しそうだ。唐突に思つて始めたよつとしたのはいいが、実は何の訓練というか、知識すらなかつた。

なので始めのころの小説ははつきり言つて「台本」。

- A 「あ。」
- B 「い。」
- C 「う。」

みたいな書き方だつた。

小説とは程遠い。思つたより難しかつた。
だけど、思つたより難しいなんていつも新しいことをしたとき思つことなんで特に気にもしない。

それ以上に、なにか面白かつた。

自分の創造した世界を自分の手で文章として書く。難しいけど思つたとおりに書くことができたときは爽快。

今は、暇さえあれば白い紙にシャーペンを踊らせる。

真つ白な世界に、黒いミミズのような字が生活を始める。
できあがると自分はそれを見る。一言言つならば「うれしい。」

真つ白の死の世界が生の世界に変わつた。自分が創造主であるかの

よつ。

いや、創造主なのだろうと自分は思つ。

小説の創造主は自分以外に、書いている人以外にはないのだろうと。
何も書かれていない紙に、世界を創る。自分が創造した世界を。

それを自由自在にできる小説家がつらやましく思い、自分はなるつ
と思う。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8029a/>

小説家になろうという決意

2010年12月15日02時48分発行